

# 平成28年度 宮城県栄養士会並びに 宮城県栄養士設置市町村連絡協議会合同研修会

生涯教育実務研修 P412-103, T412-103, FS412-103

## ①地域包括ケア体制の構築に向けて

講師 宮城県保健福祉部長寿社会政策課地域包括ケア推進班  
技術主査 三浦 禎 氏

## ②地域包括ケア体制における管理栄養士に求められる役割

講師 むらた日帰り外科手術・WOCクリニック  
在宅訪問管理栄養士 塩野崎 淳子 氏

平成29年1月11日 仙台市宮城野区榴岡のアゼリアヒルズ17F アゼリアホールにて宮城県栄養士設置市町村連絡協議会と合同で研修会が開催され、65名の方に参加をいただきました。

初めに、三浦禎氏より「地域包括ケア体制の構築」をテーマに、少子・高齢化（人口減少）の影響、地域包括ケアシステムについて、宮城県モデルの構築に向けた県の主な取組等について講話がありました。また、地域包括ケアの仕組みづくりには、「まとめる」、「巻き込む」がキーワードであることを学びました。

参加者からは、地域包括ケアシステムがどうして必要なのか、必要となった背景がよく理解できた、地域包括ケアの仕組みを知ることができた等の声がありました。



次に、塩野崎淳子氏より、地域包括ケア先進地域での栄養士の動きや訪問栄養指導に関する制度についての他、訪問栄養指導の実際の事例の紹介もあり、在宅医療における管理栄養士の役割や多職種連携の実際について学ぶことができました。

参加者からは、具体的な事例をあげて話していただき分かりやすかった、管理栄養士は何ができるかの具体的なイメージがつかめた、訪問栄養士の現状を知ることができてとても勉強になった等の声がありました。

最後に、市町村、施設、診療所等それぞれの現状や課題等について情報交換を行いました。

(文責 庄子 聡子)